

A photograph of a white ceramic plate centered on a rustic wooden table. A silver fork is placed on the right side of the plate. The image is framed by dark grey bars on the top, bottom, and sides.

フードバンクイコロさっぽろ

連携構築オリエンテーション

団体紹介

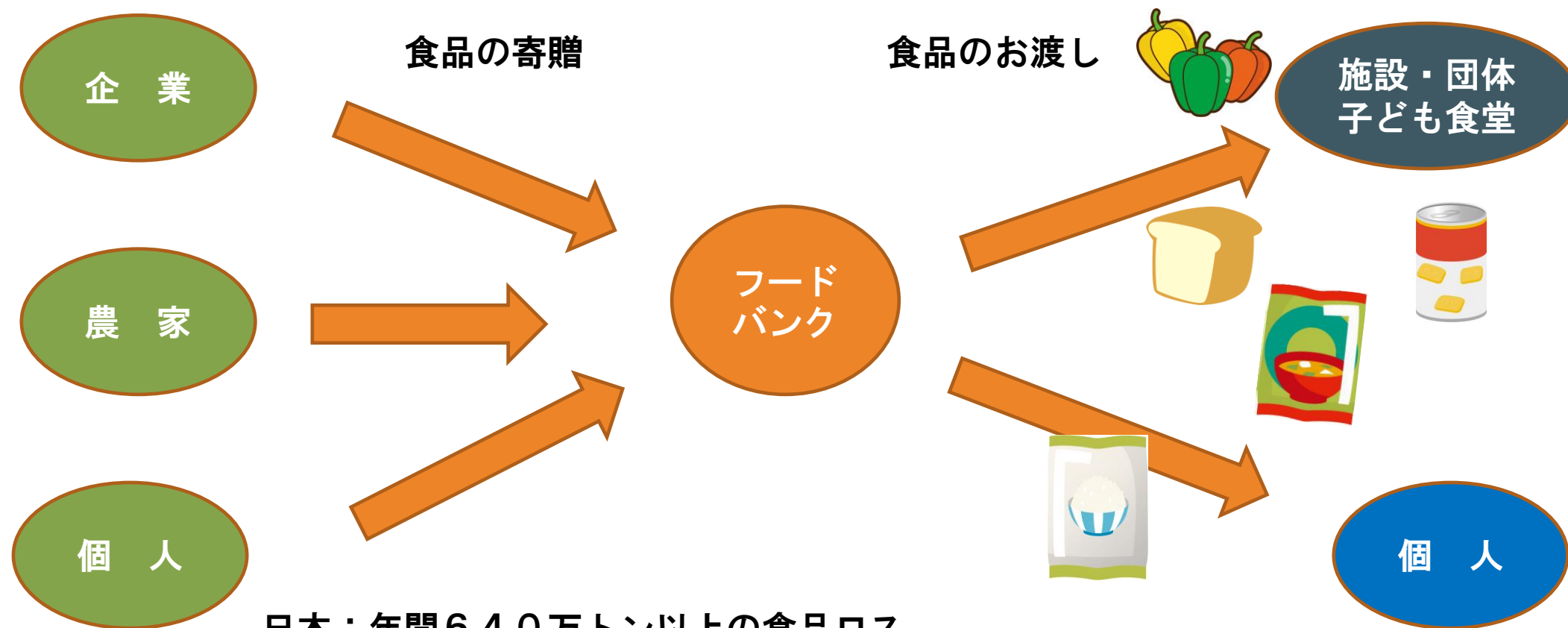
NPO法人フードバンクイコロさっぽろ

理事長 片岡 有喜子（かたおか ゆきこ）

- ・ 2018年6月よりフードバンク活動を自宅の一室から活動をスタート
- ・ 現在は東区の倉庫を拠点に毎月約2トンの食品を扱っています
- ・ 福祉施設・子ども食堂・支援団体：登録30か所
- ・ 道内の相談窓口連携：2020年コロナ禍で新たに24カ所増
- ・ 正会員・ボランティアスタッフ：約70名



まずはじめに・・・フードバンクとは



日本：年間640万トン以上の食品ロス
（「まだ食べられる食品」の廃棄）

寄贈される時の様子

寄 贈



善意の寄贈
＋
お土産品の余剰

商習慣による寄贈
(販売期限切れ)

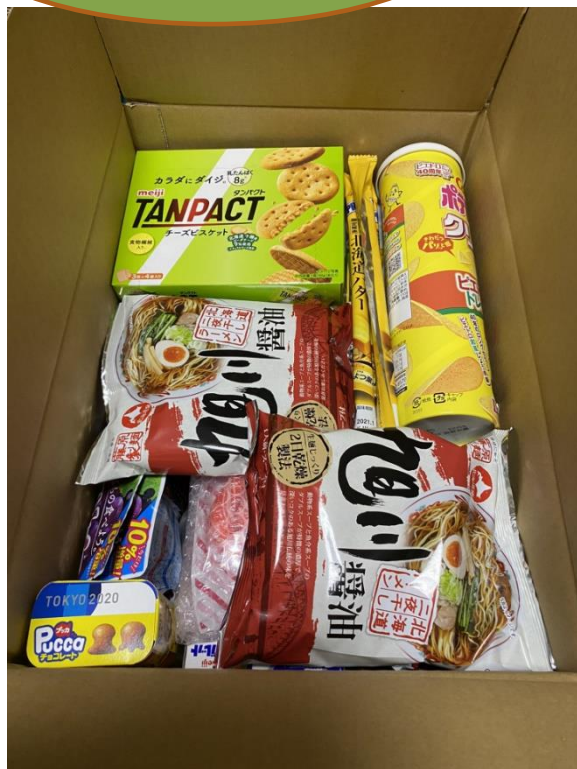


余剰による寄贈
(生産コントロール不可)

個人世帯へ渡す方法

* ブルーの線はコロナ禍で新たにスタートした事業です

小包



- ・ 子ども応援プロジェクト（コロナ前から）

- ・ COVID-19対策プロジェクト

- ・ 連携機関（相談窓口、NPO法人）を通じた要請による小包

個人世帯へ渡す方法

0円マーケット



フードバンク イコロさっぽろ
ありがとうを食でつなぐ

パントリー事業

- ・ 定期開催
(奇数月しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道様の聴きあう会に合わせて開催)



個人世帯へ渡す方法

0円マーケット



・ 団体主催



個人世帯へ渡す方法

お弁当無料配布

・ 団体主催 in やわらぎ斎場

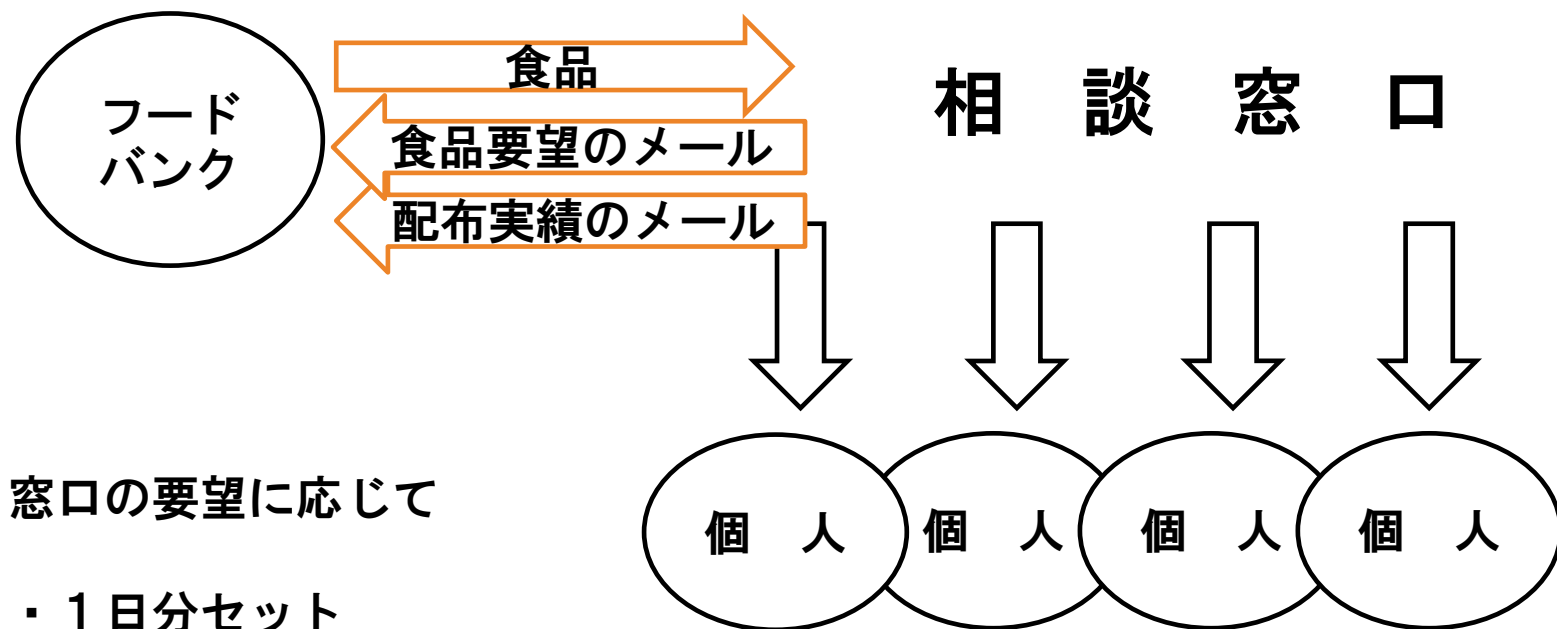


- ・ 食の支援（お弁当&持ち帰り食材）
- ・ 居場所支援（遊びと保護者の交流）
- ・ 学習支援（NPO法人コミュニティ・ノート様

個人世帯へ渡す方法1 別紙2を使用

窓口配布セット

必要な量をフードバンクに対してFAXで申請し、**あらかじめ食品をストックしておける仕組み**です。



窓口の要望に応じて

- ・ 1日分セット
- ・ 3日分セット

相談窓口に来た人に配布
例) 今日明日の食事ができないくらいの所持金。
申請したものの審査を待てない。

個人世帯へ渡す方法2 別紙3を使用

小包



- ・ **基本的に初回のみ利用可能**です。
(繰り返し申請する場合には慎重に行ってください。)
- ・ 対象者の判断は一任いたしますが、借金の返済などの目的のために小包を継続的に利用することはお控えください。
- ・ フードバンクへの連絡やメールは職員の方のみ可能です。個人の方へ申請書類をお渡しすることはできません。
- ・ 直接フードバンクの倉庫で個人の方に食品をお渡しすることはできません。
- ・ 小包に詰める食品の細かい指定はできません。

フード
バンク

相 談 窓 口

3) フードバンクへメールをする
(注: **必ず職員の方が送信。記入は本人可。**)

<ヒアリング>

- ・ 使用できる調理器具
- ・ 世帯構成
- ・ 食品アレルギー

2) フードバン
クへの個人情報
提供の承諾

1) フードバン
ク利用を提案

個 人

4) 小包 (宅急便)

相談窓口に来た人に小包を発送
例) かなり深刻な例。精神的・体力的・距離的な事情で窓口まで取りに行くことができないケース

窓口連携の趣旨・目的

- 食事がままならない、生活困窮者へ迅速にフードバンクの食品を届けること
- 窓口での配布セット・個人向け小包のパッキング・仕分け労力の負担軽減すること
- 相談窓口が生活困窮者や支援ニーズを早期に発見、対応を可能にしてもらうこと
- 相談窓口でのフードバンクの配布により、困難ケース対応や支援関係の構築に向けて利用してもらうこと

本来、フードバンクは事業所側に取りに来てもらう形が主体ですが、コロナ禍における移動・引き渡し時の接触機会・窓口側の負担軽減を目的として限定的に宅配便にて対応を行っています。

フードバンクイコロさっぽろからのお願い

1. 賞味期限までに消費してください。
2. 提供世帯以外での消費は違法です。転売やそれに類似する行為は行わないでください。
3. 食品の提供を受けた事実及び食品の品名・写真をSNSやインターネットへの掲載は行わないでください。
4. 原則、同一世帯（個人）への小包の配送は一度となります。
5. 食品の品質に関するご質問・ご意見は食品メーカーではなく、フードバンクイコロさっぽろまでご連絡ください。（mail：ikor.sapporo@gmail.com）
6. フードバンク作業場での直接の食品提供は一切行っておりません。

令和2年度の配布実績 (フードバンク全体・方法別)



* は窓口連携による

小包	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月－3月
イコロフォーム小包	42	109	95	74	62	70	59	65	75	88	101	113	953
他の機関からの要請小包	6	6	4	5	6	9	7	12	8	12	5	9	89
連携団体からの要請小包	0	0	0	30	30	0	0	0	30	0	0	0	90
月ごとの合計	48	115	99	109	98	79	66	77	113	100	106	122	1132

約716人

約 3396 人

窓口配布	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月－3月
相談窓口配布セット（食数）	0	0	203	35	387	175	5	69	150	124	171	30	1349

約 449 人

パントリー配布世帯数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月－3月
0円マーケット&子ども食堂	0	0	30	18	32	14	12	13	18	30	6	51	224

約 672 人

累計対象人数 4517 人

イコロフォーム小包・・・本人が直接申し込みフォームから申し込みしたもの
 他の機関からの要請小包・・・窓口連携を通じて申請のあったもの
 連携団体からの要請小包・・・しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道様・NPO法人子どもの未来・にじ色プレイス様を通じた小包配布

フードバンク窓口連携支援とは

食事に困窮する、生活困窮者へ迅速にフードバンクの食品を届けることを目的に、相談支援窓口为数日分の緊急食糧「窓口配布セット」を常備し、不足する方向けには個別申し込み（E-mail等）により相談者の自宅まで小包での食料支援を郵送を行う仕組みです。相談窓口との関係性ができることにより、フードバンクから相談に繋がるアウトリーチ的機能も含まれます。

フードバンク窓口連携の仕組み

- 1 窓口配布セットの事前送付
- 2 個別相談に対する食料小包の自宅郵送
- 3 自立相談支援機関のアウトリーチ機能

